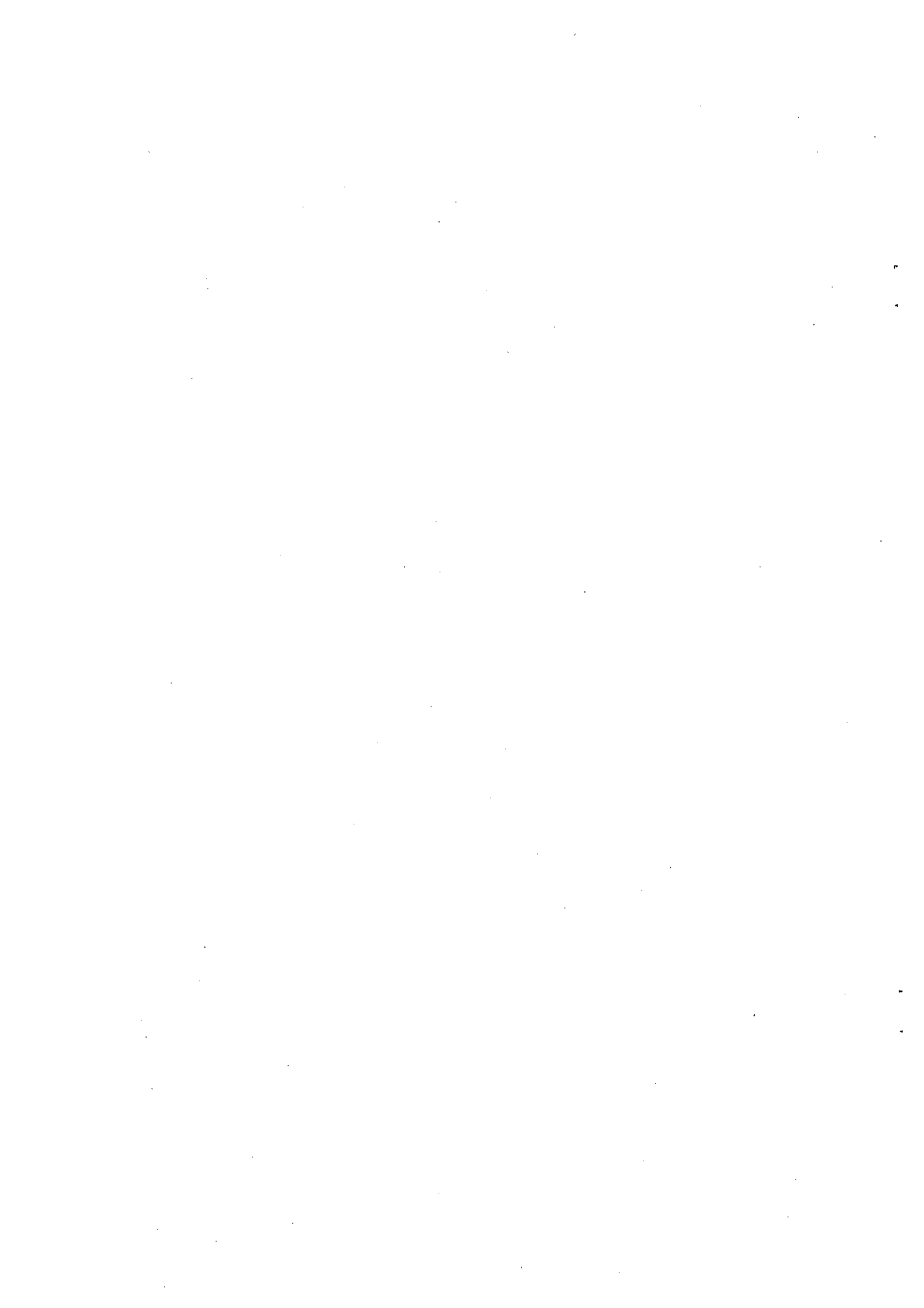


# 地域振興県土警察常任委員会資料

(平成 29 年 4 月 21 日)

- 1 「とっとりで待っとなります」国内向け旅行商品造成支援事業の実施結果について  
【観光戦略課】・・・1 ページ
- 2 山陰地域における「IoT 活用おもてなし実証事業」～訪日外国人FIT 滞在時間内消費  
拡大事業～（実施主体：山陰インバウンド機構）の実施決定について  
【観光戦略課】・・・2 ページ
- 3 「岩美ジオフィールド」の機能拡充について  
【観光戦略課】・・・3 ページ
- 4 平成 28 年度県内空港国内航空便の利用状況と  
今後の利用促進の取組について  
【観光戦略課】・・・4 ページ
- 5 平成 28 年度国際定期航空便（ソウル・香港便）の利用状況と  
今後の利用促進の取組について  
【観光戦略課】・・・5 ページ
- 6 第 22 回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットの開催結果について  
【交流推進課】・・・6 ページ
- 7 鳥取県・モンゴル中央県友好交流 20 周年記念事業の実施結果について  
【交流推進課】・・・15 ページ
- 8 ニコニコ超会議 2017 への出展について  
【まんが王国官房】・・・16 ページ
- 9 第 6 回まんが王国とっとり国際マンガコンテストの募集について  
【まんが王国官房】・・・17 ページ
- 10 三徳山三佛寺奥院行者道迂回路完成に伴う開山祝賀式典の開催について  
【中部総合事務所地域振興局】・・・18 ページ
- 11 伯耆国「大山開山 1300 年祭」推進体制の充実・強化について  
【西部総合事務所地域振興局】・・・19 ページ
- 12 大山山麓「ゼロエミッション・ツーリズム」カーシェアリング発進セレモニーの  
開催及び平成 29 年度「大山る～ぷバス」の運行開始について  
【西部総合事務所地域振興局】・・・20 ページ
- 13 「日野郡 3 町三色たたらんち」について  
【西部総合事務所日野振興センター日野振興局】・・・21 ページ

観光交流局



## 「とっとりで待っとなります」国内向け旅行商品造成支援事業の実施結果について

平成 29 年 4 月 21 日

観 光 戦 略 課

平成 28 年 10 月 21 日に発生した鳥取県中部地震の風評被害による影響(新規予約の低迷など)を払拭するため、旅行会社に対して、割引特典の付与により県内宿泊旅行商品の造成を促す「とっとりで待っとなります」国内向け旅行商品造成支援事業の実施結果を次のとおり報告します。

### 1 制度の概要

- ・旅行会社が造成する県内 1 泊以上の周遊旅行商品で、お客様 1 人あたり 2 万円以上の旅行商品に対し最大 1 万円の割引特典を支援する補助制度
- ・旅行会社に対して 12 月 27 日締切で募集したところ、予算枠 1.5 億円を大幅に超える 71 社約 5.6 億円の補助金申請があったことから、10 月専決予算の「災害復興調整費」から 5,000 万円を充当し、合計 2 億円規模(国 1 億円、県 1 億円)で補助金を交付決定(1 月 6 日付け)

### 2 「とっとりで待っとなります」国内向け旅行商品造成支援事業の実施結果

- ・71 社から申請を受け補助金を交付決定しツアーを募集した。最終的には 61 社から送客があった。

#### ・ 2 万人分の予算枠に対し、19,104 人が来県された。(95.5%)

- ・ツアー参加者の発地(割合)

造成された対象ツアーに、北は北海道から南は鹿児島までの 37 都道府県から参加があった。特に近畿地方からの来県が多く全体の 44.5%を占めた。次いで関東地方が 20.6%、中部地方が 12.6%となった。

エリア	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
割合	0.1%	0.1%	20.6%	12.6%	44.5%	10.7%	4.2%	7.1%

- ・ツアーの傾向

宿泊地は中部(はわい温泉、三朝温泉)や西部(皆生温泉)など温泉地が多かった(全体の 72%を占める)。観光地の立寄り先は各ツアー様々であるが、東部、中部または西部の有名観光地を組み合わせて周遊する傾向にあり、中部を中心に県内に広くツアー催行の効果が見られた。

多 い 立 寄 り 先 の 例	東部	鳥取砂丘、白兔神社、賀露港(かろいち)など
	中部	倉吉白壁土蔵群、中国庭園燕趙園など
	西部	水木しげるロード、水木しげる記念館、お菓子の壽城、とっとり花回廊など

### 3 その他

鳥取中部地震復興応援バス(バス代支援)については、現在、実績を取りまとめ中

山陰地域における「IoT活用おもてなし実証事業」～訪日外国人FIT滞在時間内消費拡大事業～  
(実施主体：山陰インバウンド機構)の実施決定について

平成29年4月21日  
観光戦略課

このたび、山陰インバウンド機構、(株)JTB 中国四国が応募した「ローカルエリア山陰における訪日外国人旅行者 (FIT) の滞在時間内消費拡大 (クルーズ船等) に向けた観光ビジネスプラットフォームの構築」が、経済産業省の「IoTを活用した新ビジネス創出推進事業 (IoT活用おもてなし実証事業)」(平成28年度補正予算)として、事業採択されましたので報告します。

(全採択数10件のうち中国地方で採択されたのは本事業のみ)

1 事業概要

山陰の6エリア (境港、米子、倉吉、大山、松江・安来、出雲) において、デジタル周遊パスポート及びアナログまち歩きマップにより、主にクルーズ客や、米子ソウル便、米子香港便を利用して鳥取県を訪れる訪日個人外国人旅行者 (FIT) の滞在中の消費拡大につながる実証事業を行う。

実証結果に応じて、鳥取県東部地域、島根県西部地域を含む「縁の道～山陰～Route Romantique San'in」エリアへの拡大を検討する。

また、事業で取得するデータ (国籍、年齢、性別等と関連づけた外国人観光客の周遊データ、消費データ) を今後のマーケティングや受入環境整備の基礎データとして活用する。

2 実証事業期間：平成29年7月～10月の4か月 (予定)

3 事業規模：2,600万円 (国 10/10負担)

4 事業の詳細と目指す効果：主に以下の4事業を連携させ実施する。

(1) デジタルパスポート周遊事業

県内各施設での入場料割引や特典付与のほか、バスなどの2次交通の利用が可能となる「デジタル周遊パスポート」(スマートフォンで利用可能)を設定し、周遊を促進する。120箇所程度の施設を対象とし、境港、米子空港、米子駅、松江駅で販売を行う。(予定)

(2) アナログまち歩きマップ

通信環境 (Wi-Fi や携帯電波) が無くても利用可能な街歩きマップを作成。GPSデータを活用し、既存のアナログの周遊マップ (システムに取り込んである紙製マップの電子データ) 上に旅行者の現在地やデジタル周遊パスの対象施設が表示されるため、外国人旅行者が周遊しやすくなる。あわせて外国人旅行者の周遊動向などのマーケティングデータを取得し、基礎データとして活用する。

(3) 飲食店向け接客支援サービス

飲食店にタブレット端末を設置し、郷土料理、地場食材メニューなどを多言語で表記して注文や接客を支援 (旅行者と店舗の負担を軽減) し、消費につなげる。(8店舗で導入予定)

(4) 指紋認証決済サービス

外国人旅行者が予め指紋登録と料金をチャージすると、料金精算時に生体認証決済 (指紋決済) ができるサービスを構築。これにより現金・カードレスの買い物が可能となるとともに、決済時の外国人旅行者、店舗双方の言語面の負担を軽減し消費を促進する。

(15店舗で導入予定/境港、米子空港、米子駅、松江駅で指紋登録、チャージを行う予定)

(参考) 経済産業省「IoTを活用した新ビジネス創出推進事業 (IoT活用おもてなし実証事業)」

訪日外国人旅行者が、買い物や飲食、宿泊、レジャー等の各種サービスを受ける際に求められる情報等について、自治体や事業者で共有・連携することで、様々な事業者や地域が情報を活用した高度で先進的なサービスを提供できる仕組みを実証する事業

平成29年度採択事業数：10事業 (中国地方で採択されたのは当該事業のみ)

## 「岩美ジオフィールド」の機能拡充について

平成29年4月21日  
山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館  
観光戦略課

平成28年度から「鳥取県立山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館」と隣接する「岩美町立渚交流館」のエリアー帯を「岩美ジオフィールド」と称し、山陰海岸ジオパークの振興を図っています。

この度、エリアー帯の集客を更に促進するための機能拡充を行ったので、その概要を報告します。

### 1 山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館 新作3D映像『大地と人の物語』上映開始

山陰海岸ジオパークの魅力を発信し、ジオパークに対する理解と教育普及活動を促進するため、当館の目玉である3D映像の新作を制作した。

#### (1) 公 開

平成29年4月1日（土）～

#### (2) 内 容

鳴り砂、滝、湧き水など山陰海岸ジオパークで聞こえる音に着目した。また、大地に育まれた水を利用して行われる「因州和紙づくり」「清酒づくり」など長年にわたり地域に根付いた人々の暮らしや文化に焦点を当てた。

### 2 岩美町立渚交流館「更衣・研修棟」供用開始

シーカヤックなど増加する海のアクティビティ活動者の受入れ体制を整えるため、岩美町立渚交流館に「更衣・研修棟」を増築した。（県は整備費の一部を支援）

#### (1) 供用開始

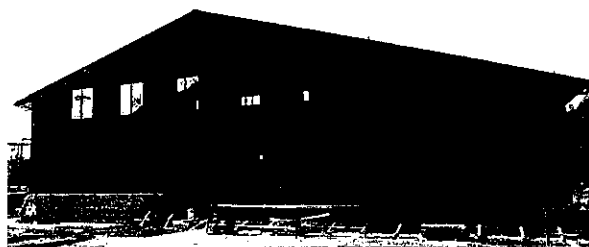
平成29年4月26日（水）～

\*4月22日（土）に開催する「岩美ジオフィールド祭り」で一般公開。

#### (2) 機 能

<1階> 更衣室、シャワー室、トイレ、砂落とし場（足・ウェア洗い場付き）、乾燥室

<2階> 研修室（ガイド研修、体験学習講座等で活用）



### 3 『岩美ジオフィールド祭り』の開催

新作3D映像及び岩美町立渚交流館「更衣・研修棟」の完成披露と今後の『岩美ジオフィールド』への更なる集客促進を図るため、岩美町等と連携し集客イベントを実施する。

#### (1) 日 時

平成29年4月22日（土）午前9時30分～午後2時

#### (2) 場 所

岩美町立渚交流館（岩美町牧谷690-20）

\*山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館での新作3D映像の放映を案内し、お客様の誘導を図る。

#### (3) 内 容

①オープニング 岩美町立渚交流館「更衣・研修棟」完成記念・披露、岩美龍神太鼓生演奏、山陰海岸ジオバンド生演奏

②イベント カヤック体験、カヤックレスキューゲーム、ジオパーク体験（砂絵、万華鏡づくり等）

③飲食ブース 出店：BeachCafe&Outdoor ALOHA、どんづまりハウス、ニジノキ、のぐる

#### (4) 主 催

岩美ジオフィールド祭り実行委員会

### 4 参考（ジオパークエリアにおけるアクティビティ（自然体験活動）年間参加者数）

年度	H24	H25	H26	H27	H28
人数	1,396人	1,899人	2,525人	4,015人	4,123人

※「鳥取県元気づくり総合戦略」に定める目標(KPI)：5,000人(H31年度)

平成 28 年度県内空港国内航空便の利用状況と今後の利用促進の取組について

平成 29 年 4 月 21 日  
観 光 戦 略 課

鳥取砂丘コナン空港及び米子鬼太郎空港の国内定期便の平成 28 年度利用状況と今後の利用促進の取組について、以下のとおり報告します。

1 搭乗実績 (平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで) ※表中の ( ) は前年実績

(1) 鳥取砂丘コナン空港 (5 便/日)

⇒就航以来の最多搭乗者数を更新 ※これまでの最多は、平成 27 年度の 368,009 人

提供座席数	搭乗者数	搭乗率
593,162 席 (593,937 席) 前年比△775人(99.9%)	373,107 人 (368,099 人) 前年比+5,008人(101.4%)	62.9% (62.0%)

<羽田発着枠政策コンテストにおける実績評価>

- ・政策コンテストで評価される実績は、上記から無償搭乗者(ANA 職員・マイルズ利用等で約 20 千人)を除いた数値 >>>H28 有償搭乗者数 (推計) 約 353 千人 (H28 目標 360 千人\*対目標△7 千人)  
※確定値は 5 月上旬に ANA が公表
- ・過去最高の実績ではあったが 1~2 月の大雪の影響(△4~5 千人)等もあり、政策コンテストで掲げた目標(360 千人)には未到達
- ・今年度は更に高い目標 (H29 目標 370 千人) を掲げており、特に春から夏にかけて取組を強化する。  
【平成 29 年 1 月、2 月の大雪による影響 (推計)】(影響人数は欠航便数及び平均搭乗率から試算)
  - ・鳥取空港：のべ 84 便が欠航 (H27：28 便) ⇒前年比で約△4,600 人の影響
  - ・米子空港：のべ 48 便が欠航 (H27：14 便) ⇒前年比で約△3,300 人の影響

(2) 米子鬼太郎空港 (6 便/日) ※H28.4-5 及び 10 月は 7 便/日

⇒ANA 東京便としての最多搭乗者数を更新 ※これまでの最多は、平成 27 年度の 549,029 人

提供座席数	搭乗者数	搭乗率
804,494 席 (759,626 席) 前年比+44,868人(105.9%)	571,815 人 (549,029 人) 前年比+22,786人(104.2%)	71.1% (72.3%)

(参考) スカイマーク便を含めた国内便全体の平成 27 年度実績：594,342 人 (最多は平成 26 年度の 816,336 人)

2 国内航空便の利用者増に向けた今年度の主な取組

- 【鳥取空港】羽田発着枠政策コンテストによる 5 便化の最終年度であり、開港 50 周年 (H29.7.31) を迎えることなども一つの契機として、特に春から夏にかけて集中的に取組を実施する。
- 【米子空港】山陰初となるボーイング 787 型機 (335 席) が 7 月~9 月に就航予定であり、首都圏からの誘客をはじめとした取組を展開する。

3 今後の主な利用促進対策

アウトバウンド対策	インバウンド対策
○鳥取空港開港 50 周年や米子空港への B787 就航を契機にしたアウトバウンド利用対策(両空港) (懇話会や ANA 山陰支店との連携事業) <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元向け旅行商品造成</li> <li>・空港での記念行事の開催</li> <li>・鳥取空港開港 50 周年記念搭乗キャンペーン 等</li> </ul> ○キッズエアサポート支援事業(鳥取のみ) <ul style="list-style-type: none"> <li>・但馬地域在住の小児を対象にした支援枠の新設 (支援額：最大 1 万円割引)</li> </ul> ※県内小児を対象にした支援枠も継続 (県内小児については、小児運賃(往復)を全額支援)	○Web 旅行社と連携した誘客対策(両空港) (Web 旅行社のサイトでの観光 PR や割引クーポンの発行) <ul style="list-style-type: none"> <li>○羽田乗継によるインバウンド利用促進対策(両空港)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ANA 中国統括室との連携した中国からの誘客促進 ※中国・廈門の旅行社が羽田トランジット旅行商品を造成予定 (夏季を予定)</li> <li>・シンガポール、ベトナム、タイなどを対象とした羽田トランジットによる県内誘客対策を実施</li> <li>・東京都と連携した羽田乗継利用促進に向けた FAM ツアー</li> </ul> </li> <li>○搭乗率の低い東京発鳥取行 1 便の利用促進(鳥取のみ)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京発 1 便搭乗者限定のレンタカー助成加算 (通常 3,000 円→5,000 円に拡大)</li> <li>・朝食をワンコイン(500 円)で提供 等</li> </ul> </li> </ul>

# 平成 28 年度国際定期航空便（ソウル・香港便）の利用状況と今後の利用促進の取組について

平成 29 年 4 月 21 日  
観 光 戦 略 課

米子ソウル便及び米子香港便の両国際定期便の平成 28 年度の利用状況と今後の利用促進の取組について、以下のとおり報告します。

## 【米子ソウル便】

インバウンド需要が好調で、年度別での過去最多搭乗者数を更新したほか、平成 29 年 2 月は月間搭乗率が初めて 90% を越え、月間搭乗率・搭乗者数、韓国人搭乗者数が過去最高を達成

### 1 平成 28 年度年間利用実績（エアソウル米子支店提供） 注：（ ）内は前年同月実績

提供座席数	搭乗者数	韓国人搭乗者数	搭乗率
56,548席 (50,542席)	37,688人 (34,440人)	28,129人 (27,548人)	66.6% (68.1%)

※10月21日まではアジアナ航空、10月23日以降はエアソウルでの利用実績

### 2 平成 29 年 4 月の予約状況 [4月6日現在]

4月 68.8% (前年同期 73.7%)

### 3 今後の主な利用促進対策

アウトバウンド対策	インバウンド対策
<ul style="list-style-type: none"> <li>米子ソウル便搭乗者通算 50 万人を達成記念のお得なソウル行きツアー商品など、各種キャンペーンや広報を実施</li> <li>GW関連の旅行商品や韓国観光情報を Facebook「エアソウル山陰」（12～3 月にフォロー 5 千名獲得）や、「エアソウル山陰ファンクラブ」メールマガジンで山陰・山陽北部へ広く情報発信</li> <li>各種利用助成制度の PR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人客集客のため、夏の体験アクティビティ等を中心とした韓国でのプロモーションを実施</li> <li>4月以降の団体客確保のため、旅行社と連携しホームショッピングでのエアソウル利用の鳥取旅行商品を放映し販売促進を図る。</li> <li>5月にエアソウル機内誌『Your Seoul』の取材や大手メディアを招聘した鳥取県の情報発信を強化する。</li> </ul>

### 4 米子ソウル便搭乗者 50 万人達成記念セレモニーの実施（主催：国際定期便利用促進協議会・鳥取県）

- 日時：平成 29 年 4 月 9 日（日）14 時～14 時 30 分
- 場所：米子鬼太郎空港 2 階
- 内容：① 50 万人達成者（ソウルから旅行で来県された韓国人ご夫妻）へ花束・記念品（無料航空券）贈呈  
② 主催者挨拶 平井 伸治 鳥取県知事  
③ 来賓挨拶 斉木 正一 鳥取県議会議長  
④ くす玉割り・記念撮影



## 【米子香港便】

情報発信の取組強化（旅行雑誌での PR、旅行会社と連携した市民説明会など）により、就航から 5 ヶ月を経過した 2 月 18 日には利用者数 1 万人を達成し、季節ごとの変動はあるが、利用状況は上向き傾向

### 1 平成 28 年度（9 月～3 月）利用実績（香港航空大阪支店提供）

提供座席数	搭乗者数	香港含む外国人搭乗者数	搭乗率
19,836席	12,875人	9,422人	64.9%

※平成 28 年 9 月 14 日に新規就航

### 2 平成 29 年 4 月の予約状況 [4月4日現在]

4月 72.0%

### 3 今後の主な利用促進対策

アウトバウンド対策	インバウンド対策
<ul style="list-style-type: none"> <li>企業活動の活発化、教育、文化、スポーツ、経済などの幅広い分野での交流の促進に向け、香港、マカオ両地域における情報収集を引き続き実施</li> <li>ホームページ、SNS等を通じた情報発信や、地元旅行社等を通じた周知の働きかけなどを実施</li> <li>各種利用助成制度の PR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>香港有名旅行雑誌のひとつ「U-Magazine」による県内取材（テーマ：キャンプ）を 4 月に実施</li> <li>4 月 19 日に在香港鳥取県出身者等を中心に「香港とっとり応援団」を結成。今後、香港での鳥取情報の発信等にご協力いただく。</li> <li>4 月 20 日に知事が香港の航空会社、旅行会社等を訪問し PR を実施</li> <li>香港ブックフェア（7 月 19 日～25 日）出展による鳥取県の知名度向上</li> </ul>

## 第22回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットの開催結果について

平成29年4月21日  
交 流 推 進 課

平成29年4月9日（日）から11日（火）に倉吉市で開催した第22回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット（以下「サミット」という。）の結果について、次のとおり報告します。

### 1 開催期間

4月9日（日）から11日（火）

### 2 主会場

倉吉未来中心

### 3 テーマ

「ゆるぎない絆で新時代を拓く～災害復興、経済発展、観光振興～」

### 4 参加者

#### (1) 各首長

- ・江 原 道 崔文洵（チェ・ムンスン）知事ほか
- ・吉 林 省 劉国中（リウ・グオジョン）省長ほか
- ・沿海地方 ミクルシェフスキー・ウラジーミル知事ほか
- ・中 央 県 ジグジド・バトジャルガル知事ほか
- ・鳥 取 県 平井伸治知事ほか

#### (2) サミット参加地域関係国在大阪（神戸）総領事

- ・在神戸大韓民国総領事 朱 哲完（チュ・ Cholワン）
- ・在大阪中華人民共和国総領事 李 天然（リ・ティエンラン）
- ・在大阪ロシア連邦総領事 リャボフ・オレグ
- ・在大阪モンゴル国総領事 ダワードルジ・デルゲルツォグト

#### (3) 外務省

- ・小田原 潔（おだわら きよし）外務大臣政務官

### 5 結果

#### (1) サミット本会議

##### ア 日時

4月10日（月）午後2時30分から午後5時30分まで

##### イ 場所

倉吉未来中心小ホール

##### ウ 内容

- 「大交流時代」という新しい時代を開いていこうという決意を共有するとともに、サミットの成果を「倉吉未来共同宣言」としてとりまとめ、各地域が観光・経済分野で一層の交流を深め、地域防災力の向上を図ることで合意した。
- 2018年の平昌冬季五輪の成功に向け、各地域が協力することを確認するとともに、知事、省長が署名したスノーボードを江原道知事に贈った。
- 江原道知事から、江原道、沿海地方、本県境港などを結ぶクルーズ船を5月から運航を始めるとの報告があった。（全12回予定、うち5回が境港にも寄港）

#### (倉吉未来共同宣言の主な内容)

- ・鳥取県中部地震を始め、吉林省、沿海地方を襲った大型台風等の自然災害を教訓とし、地域防災力の向上、早期復興可能な安心・安全な地域づくりを推進するため、密接な情報交換を行っていく。



- ・2018年平昌冬季・2020年東京夏季・2022年北京冬季オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ2021関西など北東アジア地域において開催される世界規模のスポーツ大会を好機と捉え、戦略的な人的交流の活性化・促進を図っていく。
- ・米子-ソウル便を始めとした定期航空路線などの既存航路の利用促進、新たな交通網の構築及び既存航路との共栄により北東アジア地域間の人的・物的交流を促進させていく。
- ・第23回サミットを2018年、ロシア連邦沿海地方で開催する。

(2) 鳥取県中部地震復興状況視察

ア 場所及び日時

(ア) 白壁土蔵群

4月10日(月) 午前10時45分から午前11時15分まで

(イ) 倉吉未来中心アトリウム

4月10日(月) 午後2時から午後2時25分まで

イ 内容

中部地震復興本部事務局等の案内により白壁土蔵群及び工事中の倉吉未来中心アトリウム内を視察し、当時の様子や復興の状況について知識を共有

6 関連事業

(1) 経済協議会(通商物流課主管):別紙1参照

4月11日(火) 午前9時から午前11時まで/倉吉未来中心小ホール

(2) 環境保護機関実務者協議会(環境立県推進課主管):別紙2参照

4月11日(火) 午後1時30分から午後4時30分まで/倉吉未来中心小ホール

(3) 美術作品展示会(文化政策課主管):別紙3参照

4月10日(月)から12日(水)/まちかどステーション(倉吉市大正町1067-29)

(4) マスコミ代表者会議(新日本海新聞社主管)

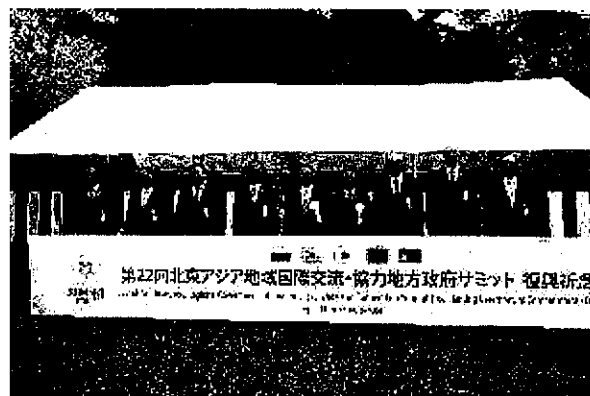
4月10日(月) 午前9時30分から午前11時まで/倉吉未来中心小ホール

(5) 沿海地方との経済協力等に関する覚書の署名

鳥取県及び沿海地方の両知事及び両地域の企業家による経済協力に関する覚書を署名

7 日程

月日	サミット団日程	関連事業日程
4月9日(日)	二地域間会談	
4月10日(月)	二地域間会談 鳥取県中部地震復興状況視察 美術作品展開幕式 サミット本会議、共同記者会見 歓迎レセプション	マスコミ協議会
4月11日(火)	記念植樹、野点	経済協議会 環境保護機関実務者協議会



## 第22回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット

### 倉吉未来共同宣言

日本国鳥取県知事 平井伸治、大韓民国江原道知事 崔文洵、中華人民共和国吉林省長 劉国中、ロシア連邦沿海地方知事 ミクルシェフスキー・ウラジーミル、モンゴル国中央県知事 ジグジド・バトジャルガルは、2017年4月10日に鳥取県倉吉市「倉吉未来中心」において開催された「第22回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」において、相互協力及び友好関係に基づき北東アジア地域の共同繁栄のために幅広く意見交換を行い、次の事項について合意した。

- 1 本サミットが北東アジア地域の交流・協力の推進及び地域間連携の増進に寄与するとともに、多様な分野での発展に繋がっていることを高く評価し、この取組を更に推進し、ダイヤモンド・クインテットの団結をより強固なものとしていくことで、北東アジア地域内の更なる発展及び安定に貢献していく。
- 2 2016年8月に吉林省延辺朝鮮族自治州及び沿海地方を襲った大型台風被害、同年10月に鳥取県中部を襲ったマグニチュード6.6の震災など各地域における災害を教訓とし、自然災害に対する地域防災力の向上方策や早期復興が可能な安心・安全な地域づくりを推進するため、各地域間で密接な情報交換を行っていく。
- 3 観光分野における交流の促進が、各地域間交流を更に強固にしていくとの認識のもと、各地域間の観光交流を更に活発なものとする方策を検討していく。  
特に、2018年平昌冬季オリンピック・パラリンピック、2020年東京夏季オリンピック・パラリンピック、2021年ワールドマスターズゲームズ2021関西及び2022年北京冬季オリンピック・パラリンピックなど北東アジア地域において開催される世界規模のスポーツ大会を好機と捉え、各地域間のスポーツ交流を更に推進していくとともに、各地域の観光情報を相互に発信するなど情報の共有・協力を推進し、戦略的な人的交流の活性化・促進を図っていく。
- 4 各地域が協力して、北東アジア地域の経済・貿易発展とその時流に適應した取組を更に推進していくため、米子ーソウル便を始めとした定期航空路線や境港ー東海ーウラジオストクを結ぶ環日本海定期貨客船などサミット参加地域における既存航路の利用促進、琿春ーザルビノー東草航路の再開推進、国際チャーター便を含むサミット参加地域の新たな交通網の構築及び既存航路との共存・共栄、民間企業間の経済交流の促進など具体的な取り組みを一層加速し、北東アジア地域間の人的・物的交流を促進させていく。
- 5 上記の防災・観光・スポーツ・経済・貿易・交通分野の他、文化・教育・福祉・科学・環境・農業分野における交流や青少年交流・民間交流の活発化のため、各地域が協力して交流基盤の拡大を推進する。

6 各地域で開催する様々な行事の国際的な評価を高め、各地域の交流・発展に繋げるよう、特に次の活動に対して積極的に相互支援を行っていく。

- (1) 鳥取県で開催する大山開山1300年祭(2018年)、ワールドマスターズゲームズ2021関西(2021年)
- (2) 江原道で開催する2017GTI国際貿易・投資博覧会、北東アジア女性CEO大会、2018平昌冬季オリンピック・パラリンピック
- (3) 吉林省で開催する第11回中国東北アジア博覧会(2017年)、第二回日中韓地方政府協力会議及びビジネスマッチング(2017年)
- (4) 沿海地方で開催する第3回太平洋観光フォーラム(2017年)、太平洋国際観光展(PITE)(2017年)、東方経済フォーラム(2017年)、第11回国際環境フォーラム「国境なき自然」(2017年)
- (5) 中央県で開催するモンゴル民族祭り「ナーダム」(2017年)

7 「第23回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」は、2018年、ロシア連邦沿海地方で開催する。

この共同宣言文は、日本語、韓国語、中国語、ロシア語、モンゴル語でそれぞれ作成する。各言語版は同一の効力を持ち、各地方政府が各1部を保管する。

日本国鳥取県知事

平井 伸 治

大韓民国江原道知事

최 문 순

中華人民共和国吉林省長

劉 國 中

ロシア連邦沿海地方知事

モンゴル国中央県知事

Handwritten signature

## 北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット(経済関連)について

平成29年4月21日

交流推進課

## 1 北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット関連「経済協議会」の開催

第22回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットの関連事業として「経済協議会」を次のとおり開催し、各地域のインバウンドビジネスにおける地域経済活性化の取組等について意見交換を行いました。

日 時 4月11日(火) 午前9時～12時  
 場 所 倉吉未来中心 小ホール  
 参加者 鳥取県 岡村商工労働部長 ほか  
 江原道 (財)原州医療機器テクノバレー 鄭完吉(チョン・ワンギル) 院長 ほか  
 吉林省 商務庁 劉乃軍(リウ・ナイジュン) 副庁長 ほか  
 沿海地方 経済・戦略発展局 テルレツカヤ・アンナ局長代理 ほか  
 中央県 管理調査評価内部監査部 チョローンバト・ジャヴザンパグマ部長 ほか

## 内 容

- ・外国人観光客がもたらす需要の獲得に向けた取組状況等について発表、意見交換を行うとともに、観光産業分野での企業間の交流や人材育成などの取組について各地域間で情報交換、連携していくことを確認しました。
- ・各地域の主な発言

鳥取県	外国人観光客の需要獲得に向けたインフラ整備(航路・港湾整備、WiFi、多言語表示)や民間企業による商品開発などの取組を紹介し、各地域における航路の利活用、通関・物流の円滑化の推進や連携を提案
江原道	医療機器分野の各地域間の取組を紹介するとともに、北東アジア域内で情報技術を活用した医療・健康分野の革新を目指す「デジタル・ヘルスケア」での連携を提案
吉林省	吉林省でも観光産業が新たな基幹産業となっている。北東アジア地域間を繋ぐ交通・物流網の整備の推進や国を超えた電子商取引(越境EC)での貿易推進、観光情報発信など、インバウンド促進に向けて2地域、多地域間の協力を提案
沿海地方	ビザ発給要件の緩和等により、外国人観光客が増加。文化・スポーツ施設の整備も進んでおり、また、大学では観光業での人材育成にも取り組んでいる。(鳥取県から人材育成プログラム等について情報交換を依頼)
中央県	遊牧文化の体験旅行商品の開発や中小企業間の情報交換、観光産業の専門人材育成等について、各地域との連携を提案

## 2 鳥取県とロシア沿海地方との経済協力等に関する覚書の署名

鳥取県版「ロシア中小企業・人的交流分野における協力プラットフォーム」の取組の一環として、「北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」の平井知事とミクルシェフスキー沿海地方知事との会談の機会(4月10日)を捉えて、両知事及び両地域の企業家による経済協力に関する覚書を署名しました。今後は企業間で情報交換を行いながら、事業実施可能性の検討を進めていきます。

## &lt;署名の概要&gt; (地方政府間1件、民間企業間4件)

## (1) 日本国鳥取県知事とロシア連邦沿海地方知事との協力に関する会談における議事録

署 名 者 鳥取県知事、沿海地方知事  
 内 容 経済、貿易、人的交流等の協力促進

## (2) 廃棄物処理分野における事業可能性の検証に関する覚書

署 名 者 三光燊(境港市)、(有)アバトレード(ウラジオストク市)、(有)プリムテクノポリス(ウラジオストク市)  
 内 容 ロシアにおけるゴミ焼却場、小型焼却炉、下水汚泥処理、RPF製造及びリサイクルに関する事業化に向けた情報交換等の協力。  
 ※RPF: 「Refuse Paper & Plastic Fuel」 廃プラスチック類を主原料とした高品位の固形燃料。

**(3) 使用済み紙おむつの処理機器の販売に関する協力の覚書**

署名者 (株)スーパー・フェイズ (伯耆町)、北海道総合商事(株) (札幌市)、(有)アバトレード (ウラジオストク市)

内 容 使用済み紙おむつ処理機器のロシアでの販売協力

**(4) 廃ガラスの処理・再利用のための設備に関する協力の覚書**

署名者 (株)鳥取再資源化研究所 (北栄町)、(有)プリムテクノポリス (ウラジオストク市)

内 容 廃ガラスの処理・再利用のための設備に関する協力

**(5) DBSクルーズフェリー等を利用した旅行商品造成の協力のための覚書**

署名者 (株)一畑トラベルサービス (松江市)、DBSクルーズジャパン(株) (境港市)、(有)フレガト・アエロ (ウラジオストク市)、(有)SUMOTORI (ウラジオストク市)

内 容 DBS フェリー等を利用した沿海地方へのアウトバウンド商品造成の協力

## 日本国鳥取県知事平井伸治とロシア連邦沿海地方知事ミクルシェフスキー・ウラジーミル・ウラジーミロヴィチとの協力に関する会談における議事録

2017年4月9日から11日に鳥取県倉吉市で開催した第22回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットの枠内で、日本国鳥取県知事平井伸治、ロシア連邦沿海地方知事ミクルシェフスキー・ウラジーミル・ウラジーミロヴィチは、友好的な雰囲気の中で実施された会談において、日本国鳥取県とロシア連邦沿海地方（以下、双方）は、意見交換し、今後更に、友好・協力関係を発展させていくために、以下の事項を実施していくことで一致した。

- 1 日露協力については、2016年11月3日に日露政府間で意見が一致した「8分野の協力プラン」に基づき、具体的な成果を達成し、両地域の企業・団体間の交流案件を創出することに向けて、商談会の開催、ビジネスミッションの派遣等の事業を実施するために、具体的な案件について効率的に情報交換を行う。
- 2 双方は、沿海地方側の沿海地方国際協力局と、鳥取県版「中小企業・人的項交流分野における協力プラットフォーム」の事務局を務める鳥取県側の鳥取県商工労働部を通じて情報交換を行う。
- 3 双方は、観光、廃棄物処理、食品、人的交流及び海運の分野について、優先的に協力して取り組んでいく。
- 4 双方は、第3回太平洋国際観光フォーラム、第21回太平洋国際観光展示会（2017年5月、沿海地方）、東方経済フォーラム2017（2017年9月、沿海地方）、日露「海の道」フォーラム（2017年10月、鳥取県）等、相手地域において開催される行事に協力して取り組む。
- 5 双方は、日露経済関係が発展していくことにより両国間の物流量が増大していくことを踏まえ、環日本海定期貨客船の利用促進のため、日露間のビジネスに携わる企業に対して、利用促進を働きかけていくとともに、諸問題の解決に取り組んでいく。
- 6 双方は、2017年から相互的に実施する日露査証緩和措置、ウラジオストク自由港による短期査証取得が本年スタートすることを踏まえ、人的・観光の相互交流を促進していく。
- 7 双方は、2018年に日露両政府の合意によって実施される「ロシアにおける日本年及び日本におけるロシア年」の開催に併せて、相手の地域において、経済、文化、教育、青少年及びスポーツ交流等の事業を実施する。

この議事録を、双方は日本語及びロシア語で作成し、2017年4月10日に調印した。

日本国鳥取県知事  
平井伸治

ロシア連邦沿海地方知事  
ミクルシェフスキー ウラジーミル  
ウラジーミロヴィチ

## 第 10 回北東アジア地方政府環境保護機関実務者協議会の開催概要について

平成 29 年 4 月 21 日  
環境立県推進課

「第 22 回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」の関連事業として、下記のとおり、「第 10 回環境保護機関実務者協議会」を開催し、各国各地域の環境部局における災害からの復興に係る取組策等について意見交換した。

### 記

#### 1 「第 10 回北東アジア地方政府環境保護機関実務者協議会」の概要

- (1) 日 時：4 月 11 日（火）13 時 30 分～16 時 30 分  
(2) 場 所：倉吉市駄経寺「倉吉未来中心 小ホール」  
(3) 参加地域及び団長：

参加地域（国）	役職	氏名
鳥取県（日本）	生活環境部長	広田 一恭
沿海地方（ロシア）	自然資源・環境保護局長	コルシェンコ・アレクサンダ
中央県（モンゴル）	自然環境観光局長	ジャンツァンドルジ・ダシヤチル
江原道（韓国）	緑色局環境課長	朴漢圭（パク ハンギュ）
吉林省（中国）	環境保護庁副庁長	孫 鉄（スン テ）

- (4) 主題発表：テーマ「環境部局における災害からの復興に係る取組策等について」  
(5) フリーディスカッション：地方政府における地球温暖化対策の取組等について

#### 2 結果の概要

- (1) 上記テーマについて各地域がそれぞれの取組を下表のとおり発表した。

参加地域	発表概要
日本 鳥取県	・鳥取県中部地震における災害廃棄物の処理、上下水道の復旧・確保、住まいの復旧支援策等について紹介。 ・海岸漂着ゴミ対策に係る本県の取組等を紹介し、ゴミ発生の抑制を提言。
ロシア 沿海地方	・2016 年 8 月から 9 月に襲来した台風による洪水被害と護岸、堤防や水利施設の復旧修繕の取組の紹介。 ・ロシア連邦の環境計画を踏まえた沿海地方の環境計画概要の紹介など。
モンゴル 中央県	・森林・草原火災による被害とその発生予防（立入り禁止措置など）、砂嵐の予報の充実、洪水被害の救援・復興活動の紹介など。
韓国 江原道	・江原道における災害の発生事例と、災害廃棄物の処理等（廃棄物の発生抑制、連絡体制、手続の流れ、国・道・市の役割分担等）の紹介など。
中国 吉林省	・環境汚染に端を発する災害が増加しており、環境保護法の改定により緊急対応（リスク抑制、対応準備、緊急対処、事後復旧）について規定したことなどの紹介。

- (2) 意見交換等

- フリーディスカッションでは、各地域から温暖化対策に係る積極的な取組が紹介された。  
○地域により国土や人口、情勢が大きく異なるため、各種環境に係る対策・対応は地域の実情に合わせて多岐にわたるものとなる。  
○このような多様な対策等をこの協議会の場で共有・情報交換する事の重要性を改めて相互に確認した。

## 第19回北東アジア地方政府サミット美術作品展示会の開催結果について

平成29年4月21日  
文化政策課

北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットの開催にあわせ、参加地域の美術作品を一  
堂に展示し鑑賞することで、今後の各地域間の文化芸術による国際交流を促進するため、「北  
東アジア地方政府サミット美術作品展示会」を開催しました。

## 1 事業内容

- (1) 名称 第19回北東アジア地方政府サミット美術作品展示会  
 (2) 展示期間 4月10日(月)から12日(水)まで3日間  
 (3) 開会式 4月10日(月) 11:25~12:10  
 (4) 展示場所 まちかどステーション(倉吉市大正町1067-29)  
 (5) 主催者 鳥取県  
 (6) 参加地域 日本国鳥取県、大韓民国江原道、中華人民共和国吉林省、ロシア連邦沿海地方、  
モンゴル国中央県  
 (7) 出品内容 各地域15点(総数75点)(伝統画・洋画・写真・書)  
 (8) 入場者数 約170人

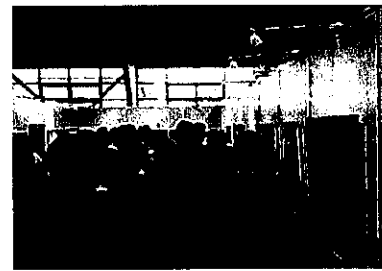
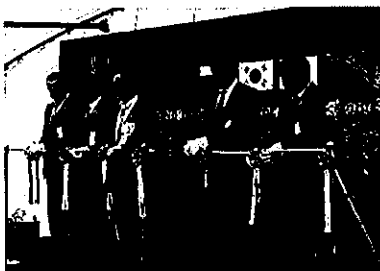
## 2 開会式及び展示会の様子

## (1) 開会式

- ・ 琴による祝奏披露 日本の春の代表曲『さくら』を琴、尺八により演奏
- ・ 主催者あいさつ 鳥取県知事 平井伸治
- ・ テープカット 各地域首長5名によるテープカット
- ・ 出席者 各地域首長5名、中華人民共和国駐大阪総領事館総領事、  
在大阪ロシア連邦総領事館領事、駐神戸大韓民国総領事館総領事  
各地域の美術団(各3名)、鳥取県美術団として出品者(10名)  
その他、環境団、経済団、等

## (2) 美術作品展鑑賞

- ・ テープカットの後、開会式会場から展示会場に移り、作品を鑑賞。各地域から美術団とし  
て参加している作家等が、それぞれの地域から出展された作品について解説するギャラリ  
ートークを行った。
- ・ 5カ国の異なる風土の中で各地域で培われた伝統や文化を反映した作品の数々を、互いに  
鑑賞し、文化芸術における国際交流を図った。





## 鳥取県・モンゴル中央県友好交流20周年記念事業の実施結果について

平成29年4月21日

交流推進課

モンゴル中央県とは、1997（平成9）年に友好交流の覚書に調印して以降、農業・医療・青少年等様々な分野で交流を続けており、本年、友好交流が20周年を迎えるため、鳥取県で記念式典等の行事を実施しました。

### 1 記念式典

(1) 期 日 4月11日（火）13:30～

(2) 場 所 鳥取県立農業大学校 体育館（倉吉市関金大鳥居）

(3) 出席者

【鳥取県】平井知事、岸田農林水産部長、吉村観光交流局長、小林農業大学校長

【中央県】バトジャルガル知事他知事団5名、芸能団3名、デルゲルツォグト在大阪総領事

【鳥取県モンゴル中央県親善協会】河本義永会長、内田博長副会長、親善協会役員

(4) 概 要

- ・友好交流締結から20年目の節目を迎え、交流を新たな時代に進めていき、今後、農業や医療分野、青少年交流、スポーツ交流などをますます発展させていくことをお互いに確認した。
- ・バトジャルガル知事から、モンゴル親善協会の役員として、永年民間交流の促進に尽力された内田副会長と、交流初期から農業研修生の受入れや専門家派遣など農業の発展に貢献している農業大学校の小林校長に、名誉勲章が授与された。
- ・友好交流20周年を記念し、両県知事など関係者で植樹（ソメイヨシノ）を行った。

### 2 その他の行事

(1) 大山乳業農業協同組合視察

・日 時 4月11日（火）10:30～

・場 所 大山乳業農業協同組合本所工場（東伯郡琴浦町保）

・内 容 小前組合長による組合概要説明、生産ライン見学

(2) 鳥取城北高校相撲部視察

・日 時 4月11日（火）17:00～

・場 所 鳥取城北高等学校（鳥取市西品治）

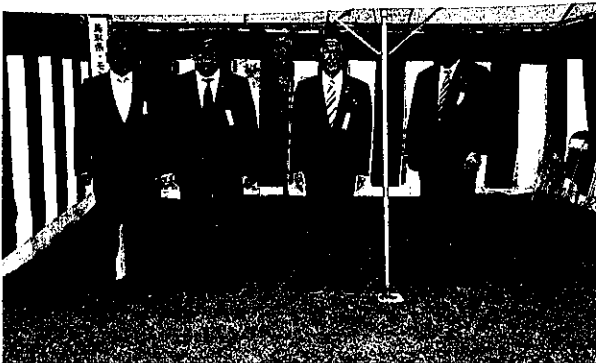
・内 容 相撲部練習視察、モンゴル出身学生の紹介、中央県知事による相撲部への激励

(3) 鳥取県立中央病院視察

・日 時 4月12日（水）9:00～

・場 所 鳥取県立中央病院

・内 容 池口病院長との意見交換、院内視察（CT検査室等）



友好交流20周年記念植樹



鳥取城北高校相撲部視察

## ニコニコ超会議 2017 への出展について

平成29年4月21日  
まんが王国官房

国内最大級のサブカルチャーイベント「ニコニコ超会議2017」にマンガを活かした地域振興に取り組む高知県及び岩手県とともに出展し、米子鬼太郎空港と鳥取砂丘コナン空港をアピールすることで首都圏からの誘客を図るとともに、「まんが王国とっとり」をPRします。

### 記

- 1 日時 平成29年4月29日（土・祝） 午前10時から午後6時まで  
平成29年4月30日（日） 午前10時から午後5時まで
- 2 場所 幕張メッセ（千葉県千葉市）
- 3 主催 ニコニコ超会議実行委員会

#### 4 出展概要

##### ○3県（鳥取県、高知県、岩手県）連携

まんが王国友好通商条約を締結している「まんが王国・土佐 高知県」及び「いわてマンガプロジェクト」を推進する岩手県と3県並んで出展します。

- ・高知県ブース内容：「まんが甲子園」をはじめ、まんが王国・土佐を各種PR
- ・岩手県ブース内容：マンガ単行本『コミックいわて、ログ』の発売をはじめ、各種PR

##### ○まんが王国とっとり

米子鬼太郎空港及び鳥取砂丘コナン空港をPRし、鳥取県への観光誘客を図ります。

##### 【ブース内容】

- ・ブース内に特設撮影コーナーを設け、来場者によるSNS等での拡散を図る。
- ・PRに協力していただいた方に鳥取砂丘コナン空港ボールペンまたは米子鬼太郎空港シャープペンをプレゼント（各先着100本）
- ・アンケート回答者へ鳥取砂丘コナン空港または米子鬼太郎空港缶バッジを配布（各先着300個）



#### ニコニコ超会議2017

- ・今年で6回目となるイベント
- ・登録会員数6000万人を超える「ニコニコ動画（通称：ニコ動、ニコニコ）」のさまざまなコンテンツを会場でリアルに再現するニコニコ最大のイベント
- ・前回の超会議2016では2日間でのべ15万2,561人が来場し、インターネット上で視聴した人の数は554万8,583人にのびりました。  
<http://www.chokaigi.jp/>

## 第6回まんが王国とっとり国際マンガコンテストの募集について

平成29年4月21日  
まんが王国官房

マンガの本家本元・日本の中に「まんが王国とっとりあり！」を世界に向けて発信することを目的に、次のとおり第6回まんが王国とっとり国際マンガコンテストの作品を募集します。

このコンテストは、一つのテーマのもとに商業目的にこだわらない自由な発想で描かれた作品が、年齢や国籍、プロ、アマを問わず同じ土俵で競い合うユニークな国際コンテストです。

昨年度、海外から過去最高の応募（24の国・地域から288点）がありましたが、今年度はウェブサイト上での作品提出を可能にするとともに、フランス語・イタリア語の応募要領・募集チラシも作成し、更に全世界からの応募拡大を図ります（計8ヶ国語で募集）。

### 1 募集概要

- (1) 募集作品：1コママンガ、4コママンガ、ストーリーマンガ（4～36ページ以内）の3部門（いずれも未発表のオリジナル作品）
  - (2) テーマ：「旅」
  - (3) 応募資格：年齢、国籍など資格制限は設けない。
  - (4) 応募期間：平成29年4月10日（月）から8月31日（木）まで
  - (5) 募集方法：関係機関への募集チラシの配布、アジア MANGA サミット運営本部と連携した海外マンガ学校への働きかけ、公募情報誌、ホームページでの周知等  
※ウェブサイト上での作品提出を可能とします。
  - (6) 各賞：以下のとおり
    - 最優秀賞：1作品（賞状、賞金50万円）
    - 優秀賞：2作品（賞状、賞金10万円）
    - 審査員特別賞：3作品程度（賞状、賞金5万円）
    - U-15賞（対象15歳以下）3作品程度（賞状、記念品（3万円相当））
- ※ 受賞者は表彰式の際に鳥取県へ招聘

### 2 今後の予定

- 10月下旬：1次審査
- 11月中旬：2次審査
- 2月中旬：表彰式・作品集の発刊
- 2月中旬～3月下旬：最優秀・優秀作品（日本語・英語・母国語）をHP掲載

### 【これまでの開催状況】

区分	テーマ	応募作品数	うち海外作品数	応募国・地域数
第1回(H24年度)	海	691	204	8
第2回(H25年度)	環境	520	152	15
第3回(H26年度)	友情	539	172	15
第4回(H27年度)	食	405	118	19
第5回(H28年度)	ヒーロー・ヒロイン	618	288	24

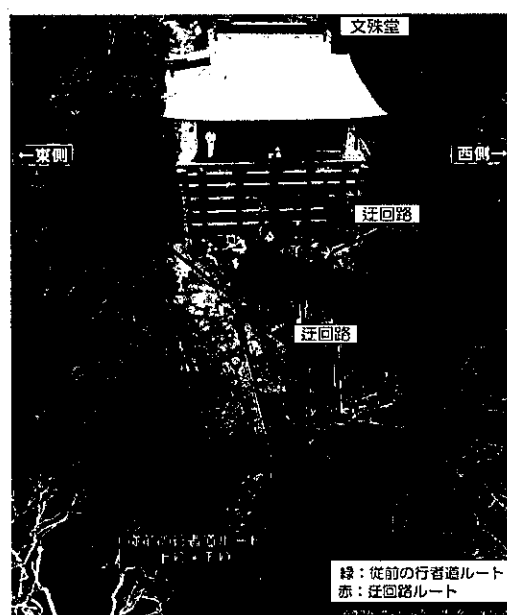
## 三徳山三佛寺奥院行者道迂回路完成に伴う開山祝賀式典の開催について

平成29年4月21日  
中部総合事務所地域振興局

国宝・日本遺産「三徳山三佛寺奥院（投入堂）」への行者道は、昨年10月21日に発生した鳥取県中部地震によって文殊堂下の岩盤に亀裂が入り入山禁止となっていましたが、このたび迂回路の完成に伴い、入山が再開されることとなり、鳥取県中部地震からの復興のシンボルとして、下記のとおり開山報告法要・祝賀式典等が開催されました。

また、開扉法要後、投入堂まで登山をする開山入峰（にゅうぶ）修行も行われました。

- 1 日時  
平成29年4月18日（火）  
午前10時から10時35分まで
- 2 場所  
三徳山三佛寺本堂（東伯郡三朝町三徳1010）
- 3 主催者  
三徳山三佛寺
- 4 出席者等  
鳥取県知事、三朝町長、鳥取県教育長、  
三朝町教育長、鳥取県議会議員、  
三朝町議会議員、三朝温泉観光協会会長、  
三徳地域協議会会長 ほか



迂回路の設置状況

- 5 内容
  - ・開山報告法要・祝賀式典（来賓挨拶、謝辞等）
  - ・開扉（かいひ）法要（行者道の入口である結界門を開くもの）



祝賀式典



開山入峰（にゅうぶ）修行

- 6 その他  
クラウドファンディングについて

- (1) 内容 三佛寺では、早期の入山再開に向けて、文殊堂近くの岩場に鎖をつけたり看板を設置したりする迂回路整備の費用として3月17日からクラウドファンディングにより資金（寄附）を募った。
- (2) タイトル 千年の歴史を未来へ！国宝『投入堂』の参拝道の修復復興
- (3) 募集期間 平成29年3月17日～4月18日まで
- (4) 目標金額 2,000千円
- (5) 支援総額 9,053千円
- (6) 支援者数 739人

## 伯耆国「大山開山 1300 年祭」推進体制の充実・強化について

平成 29 年 4 月 21 日

西部総合事務所地域振興局

伯耆国「大山開山 1300 年祭」の推進体制の充実・強化を目的とし、4 月 1 日付けで米子市及び大山町から実行委員会事務局へ職員が派遣されるとともに、県としての取組の総合調整や指揮命令系統の明確化を図るために、「大山開山 1300 年祭鳥取県本部」（本部長：西部総合事務所長、副本部長：日野センター長）を発足しました。

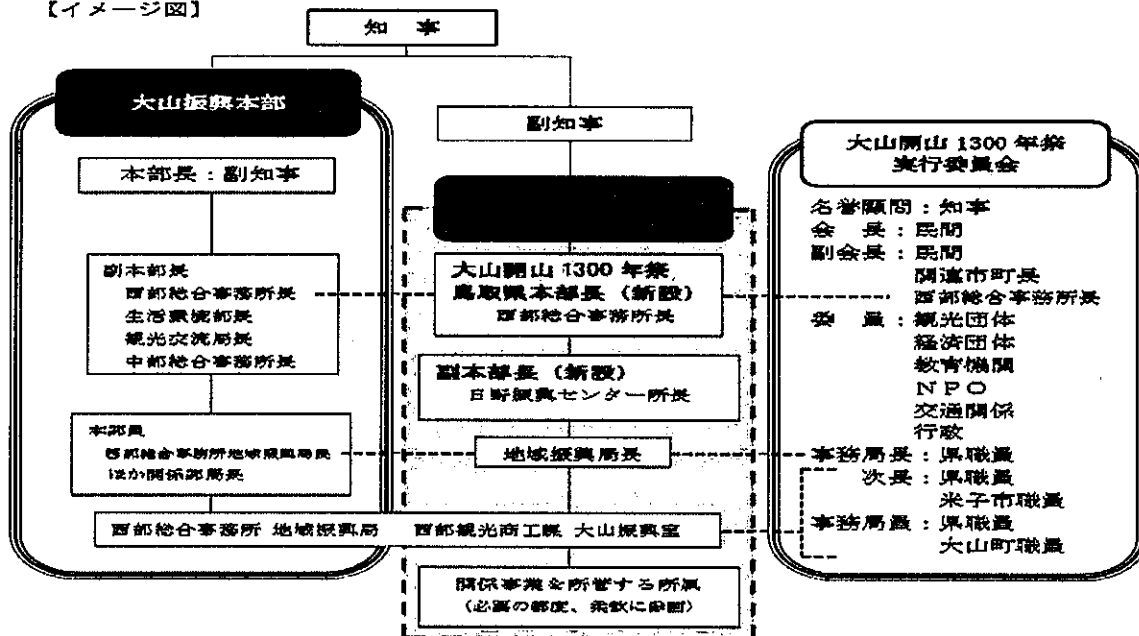
### 1 伯耆国「大山開山 1300 年祭」実行委員会事務局の体制強化について

伯耆国「大山開山 1300 年祭」実行委員会事務局の体制が強化され、専従職員が 3 名から 7 名に増員されました。

\* 米子市及び大山町から各 1 名の職員が実行委員会事務局へ派遣されました。

### 2 「大山開山 1300 年祭鳥取県本部」の県の推進体制について

【イメージ図】



### 3 「大山開山 1300 年祭」関係事業推進会議について

「大山開山 1300 年祭鳥取県本部」の初会合となる「大山開山 1300 年祭」関係事業推進会議を開催し、「平成 29 年度の事業計画」及び「平成 30 年度に向けた事業構想案」等について協議しました。

- (1) 開催日時 平成 29 年 4 月 6 日 (木) 午後 4 時から午後 5 時まで
- (2) 出席者 西部総合事務所長 (本部長)、日野振興センター所長 (副本部長)、生活環境部長、観光交流局長、中部総合事務所長ほか
- (3) 確認事項
  - ・今まで以上に PR、情報発信に力を入れて「大山開山 1300 年祭」の認知度向上を図る。
  - ・事業に関係する各部所は、所管する事業内容の検討や事業実施に当たって「大山開山 1300 年祭」との関係性を前面に出した事業推進に努める。

大山山麓「ゼロエミッション・ツーリズム」カーシェアリング発進セレモニーの開催及び  
平成29年度「大山る〜ぶバス」の運行開始について

平成29年4月21日  
西部総合事務所地域振興局

日産自動車株式会社及び株式会社JTBコーポレートセールスが共同で実施する電気自動車（EV）「e-NV200」を活用した宿泊施設でのカーシェアリング「ゼロエミッション・ツーリズム」を、県西部地区で導入することとなりました。

平成30年に開山1300年を迎える大山の山麓圏域における周遊交通の一手段として、また、走行中に二酸化炭素を排出しないことによる観光資源の保全の面においても、今後の活用が期待されることから、下記のとおり発進セレモニーを開催します。

なお、当日は平成29年度「大山る〜ぶバス」の運行開始日であり、大山来訪者への出迎え及び大山る〜ぶバスでの来訪者によるEV試乗を実施します。

【想定される利用】

- ・大山る〜ぶバス利用者による大山山麓周遊のための交通手段
- ・宿泊施設から大山周遊・観光のための交通手段

1 発進セレモニー

(1) 日時

平成29年4月29日（土・祝）午前9時30分から

(2) 場所

KOMOREBITO（こもれびと）前（西伯郡大山町大山45-5）

(3) 内容

- ・主催者あいさつ
- ・来賓紹介、来賓挨拶
- ・テープカット
- ・目録贈呈

(4) 出席者

- ・日産自動車（株）  
営業本部地域統括部中四国グループ 部長 牛飼 昇晃（うしがい なりあき）氏
- ・（株）JTBコーポレートセールス 霞ヶ関第一事業部長 石井 誠（いしい まこと）氏
- ・鳥取日産自動車販売（株） 代表取締役社長 中津尾 健（なかつお たけし）氏
- ・日産プリンス鳥取販売（株） 専務 中津尾 直己（なかつお なおき）氏
- ・一般社団法人大山観光局 会長 足立 敏雄（あだち としお）氏
- ・株式会社 皆生グランドホテル 代表取締役会長 伊坂 博（いさか ひろし）氏
- ・大山る〜ぶバス来訪及びEV試乗者（事前公募）
- ・大山町長 竹口 大紀
- ・鳥取県西部総合事務所長 中山 貴雄

2 関連行事（同時開催）

(1) EV試乗会

大山る〜ぶバス来訪者によるEV車カーシェアリングの試乗

（試乗者は、事前公募により決定。募集期間：4/12（水）～21日（金））

(2) 大山る〜ぶバス平成29年度運行開始行事

米子駅でのお見送り、大山博労座駐車場でのお出迎え

※大山博労座駐車場到着予定時刻（始発便 青9：14、赤9：25）

(3) 大山僧兵太鼓によるアトラクション

(4) 日本遺産等現地情報発信機能拠点（こもれびと）開放

日本遺産展示スペース開放及び観光案内カード原画展

3 参考

(1) 「ゼロエミッション・ツーリズム」によるEV車導入状況

鳥取県内で8台（カーシェア方式2台、リース方式6台）

(2) 近年の大山る〜ぶバス乗車実績

年度	H24	H25	H26	H27	H28
乗車数	8,064人	8,087人	10,113人	9,864人	7,877人

## 「日野郡3町三色たたらんち」について

平成29年4月21日  
日野振興センター日野振興局

日野郡広域交流促進協議会では、日野郡の交流人口増加と地域の活性化を目指し、近隣観光地から立ち寄ってもらえるよう、地域の特色を活かした「共通グルメ」として「日野郡3町三色たたらんち」を開発し、テスト販売によりお客様の声を取り入れる等により完成度を高め、4月29日（土）から正式販売を行います。

### 1 「日野郡3町三色たたらんち」とは

日野郡に共通する日本古来の製鉄法「たたら」を和・洋・中のグルメで表現することで、たたら  
の歴史や文化に親しみを持ってもらい郡内を周遊してもらうために開発しました。「たたら」  
を表現するために鉄板を使用し、炎と音で演出したグルメとすること、日野郡の旬の野菜を必ず  
用いること等を共通ルールとし、提供店舗毎に工夫を凝らしたメニューを提供します。

### 2 正式販売について

提供店は、昨年10月のテスト販売時から2店舗増え、7店舗で販売を開始します。

日 時：平成29年4月29日（土）

提供店：【江府町】休暇村奥大山(和)、門脇旅館(和)、エミーズカフェ(洋)

【日野町】そば道場たたらや(和)、リバーサイドひの(洋)レストランもり(洋)

【日南町】ふるさと日南邑ファームイン(中)

※各店舗1日限定10食を提供

### 3 お披露目会について

正式販売に先立ち、県内外のマスコミ、関係者、地域の人々等を招いてのお披露目会を開催し  
ます。

・日 時：平成29年4月27日（木） 14時30分～16時30分

・場 所：日野町山村開発センター

・参加者：県外の雑誌社、山陰地方の新聞社、テレビ局、提供店舗、各町観光協会及び商工会、  
行政関係者、大山1300年祭関係者、地元の方等

・構 成：【第一部】日野郡の魅力紹介（対象：新聞、雑誌、メディア関係者）

【第二部】日野郡3町三色たたらんち試食会

【第三部】たたらんち大山開山1300年祭バージョンについて

### 4 これからの取組（スケジュール）

- デビューイベントとして、たたらんち、郡内観光スポット、買い物スポットを周遊するスタンプ  
ラリーを開催する。
- 季節ごとに春夏秋冬バージョンを提供（正式販売開始時は春バージョン）
- 1300年祭バージョンの開発
- たたらんち広報活動（プロガー招聘）



<和食の例>



<洋食の例>



<中華の例>

